

# 要望しました！

## 市長に対して10件の要望を行いました

### 1 適切な委託金・補助金を

委託金・補助金を支出している団体について、その活動状況等を今一度把握・精査し、補助の必要性については、その結果に応じて適宜見直しを図ること。

### 2 定住促進等につながる空き家対策を

移住等を希望する方に、より一層、親切でわかりやすい情報発信を行い、定住促進と人口増につなげる努力をすること。

### 3 カブトガニ博物館等に賑わいを

開館25周年を記念してのオリジナル商品の制作・販売にあたって、これを一つの契機として「道の駅」の賑わいを来館者として呼び込み、カブトガニへの理解とPRに努めること。また、同様に郷土館・竹喬美術館等へも多くの方が訪れていただけよう、相互の連携に努めること。

### 4 地域包括支援センターを活動拠点に

住民の力を地域福祉に生かし、地域包括支援センターを地域住民の活動の拠点とすること。元気な高齢者がボランティア活動をしたり、地域住民がお互いに支え合い、助け合う意識を醸成できるような、状況の正確な把握や情報発信に努めること。

### 7 観光関係団体との連携を

地域観光プロデューサー養成事業については委託事業内容を精査し、本市の観光全般に基づいた観光関係団体との連携を図ること。

### 5 戦争の惨禍を語り継ぐ努力を

毎年、行われる戦没者追悼式事業は、戦争体験者の減少とともに、出席者が年々減っているが、なくしてはいけない大切な事業である。日本の将来を担う子どもたちや若い人たちの参加と関わりを増やすなど、戦争の惨禍を語り継ぐ努力をすること。また、時間が長く、高齢者にはつらい式典を、当事者本位の印象に残る簡素かつ有意義な式典にすること。

### 6 いきいきと生きる団塊の世代に

団塊の世代や高齢者がいきいきと生きるために、シルバー人材センターや老人クラブへの加入・入会を促進すること。また、これらの団体が、だれにとつても加わりやすく、活動しやすい居心地のよい組織であり続けるように、指導・助言し、組織の活性化にさらに努めること。

### 10 負担抑制に一層の努力を

制度上の課題、納税者の減少、保険給付費の増、基金残高が底をつくなど、厳しい状況にある国民健康保険であるが、負担増となることなくいつまでも健康に暮らしたいという市民の願いに応えるために、健康施策等を担当部署とも連携し、できるだけ負担抑制に努めるよう、一層の運営努力をすること。

### 8 防犯灯をLED化

安心・安全で住みよいまちづくり及び省エネルギーの観点より、本市管理の街路灯と防犯灯のLED化の計画的な推進を図ること。また自治会管理の防犯灯においてもLED化が円滑に進むよう検討すること。

### 9 暮らしやすい住環境形成を

笠岡市住宅マスタープランにあるように、駅周辺の生活利便性を活かした高齢者も暮らしやすい住環境の形成や地域別の市営住宅団地の統廃合及び市営住宅跡地等の利活用の検討を速やかに行うこと。